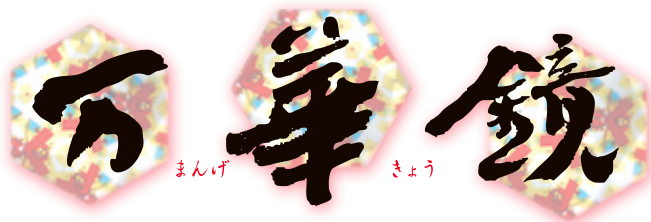


学術とスポーツの
真剣味の殿堂たれ



発行 三重中学校・高等学校六年制
〒515-8533
三重県松阪市久保町1232
電話 0598 (29) 4001
FAX 0598 (29) 6012
Eメール infomiej@mie-mie-h.ed.jp
印刷 (株)アイブレン
題字 鬼頭 翔雲



勉強する意味は自分で見つけよ

三重中学校 校長 野田 佳均

司馬遼太郎の『坂の上の雲』は再読三読するお気に入りですが、読むたびに秋山好古真之兄弟に魅力を感じます。秋山兄弟と正岡子規を通して、明治の青春群像を知るといって君たちにも是非関心を持ってほしい本です。司馬さんは『坂の上…』を「まことに小さな国が、開化期をむかえようとしている」という象徴的な書き出しで始めています。武士の時代から開化していく激動の日本を生きた青春は、極めて激しいものであったに違いないと思います。また、読めばそのことがよくわかります。嘘のような本当の話ですが、ある学者が地方に講演を頼まれて、いや、行ってやりたいのだが私が一日学問を怠れば日本の発展が一日遅れるではないか、と言って断ったそうです。自分の頑張りが国家の発展に直結しているという、今から考えれば微笑ましいやら、あるいは滑稽にすら感じるそういった直向きな意識は、しかしとても羨ましく感じます。だいたい明治維新の頃、といえど今から約150年前、日本に大学は1校もなかったのです。国家という概念のまだない時期ですから当然なのですが、その代わり各藩が学問所を設けており、武士の子はそこで勉強していたのです。秀才はむしろ地方にいたわけですね。吉田松陰など長州藩(今の山口県)です。彼の開いていた松下村塾で学んだ若者たちは、伊藤博文をはじめ明治維新に大きな役割を果たします。地方の秀才が明治維新を成し遂げたといいと思います。

東京大学が(当時は東京帝国大学ですが)設立されたのは明治19年(1886)です。ちなみに帝国大学は全部で7校できていますが、東大のあとを年度順に、明治30年(1897)に京都帝国大学、明治40年(1907)に東北帝国大学、明治44年(1911)に九州帝国大学、大正7年(1918)に北海道帝国大学、昭和6年(1931)に大阪帝国大学、昭和14年(1939)に名古屋帝国大学となります。東大、京大、東北大、九大、北大、阪大、名大の順番です。今はこの7大学を旧帝大と呼んでいて、難関大学の象徴とされています。また、大阪に帝国大学を作る前に、今のソウルに京城帝国大学、台湾に台北帝国大学を作っています。

明治維新による廃藩置県(明治4年)は税金を中央に集中

させる(ちなみに所得税の導入は明治20年)とともに全国に遍在していた秀才たちをも中央に集めたこととなります。日清戦争が明治27年(1894)から28年(1895)にかけて、日露戦争は明治37年(1904)から38年(1905)にかけてのことですから、日清戦争時には東大しかなく、日露戦争時には東大と京大しかないような状況でした。

江戸時代の武士の子に生まれ、のちに『武士の娘』(ちくま文庫)を書いた杉本鍼子は、著書の中で勉強に対する厳しい姿勢について語っています。明治維新の前後を生きた人の証言です。長岡藩、つまり今の新潟県ですが、一年のうちで最も寒い日の朝早く、雪の降る縁側に正座して論語を素読するのだそうです。祖父に習うのですが、その二人の姿を想像するだけで勉強というよりは厳しい修行のように思えます。そういう一種の苛烈さを経験することで学問の尊さが身にしみて体得されたと書いてあります。さらに、書物をはじめ勉強道具を決しておろそかにせず、真剣に勉強と向き合う姿も書かれています。この時代から明治を経て昭和の初めに至るまで、学問することは自分の将来に直結することでした。一面、私たちには想像するのも困難ですが、誰もが望めば勉強ができるといった豊かな時代ではなかったのです。国家が近代化していくときには、そういう時代を経るのかもしれない。

さて現在、私たちは近代化どころか世界最先端の技術を持ち、豊かになりたいと願った明治の若者たちの夢を、あるいはその夢以上に叶えたと言ってもいいでしょう。勉強したくてもできなかった時代は去りました。君たちは全員「勉強のできる子」になったわけです。今では全国に500を超える大学があります。国公立大学だけで、昔は7校しかなかった帝国大学ですが、150校以上もあるのですから、その気になれば勉強する環境はいくらでも与えられます。しかし、勉強すれば将来が開けると、そう単純な時代でもなくなりました。しかし今は、別に勉強したくないのに何となく進学する人もたくさんいるでしょう。では、この時代に生きる君たちは本当に恵まれた環境にいるのでしょうか。若者にとっては、どちらが幸せなのでしょう。私もすぐにはわかりません。

いずれにしても、自分で目標を持たなくては、勉強する意味を自分で見つけていかなくては、今の時代は難しいと思います。昔は勉強する意義を社会が認めていましたから、今と比べると迷いを持つ必要もなかったと思います。しかし今を生きる君たちには、たくさんの選択肢が用意され、自分の力で好きなことを見つけなさいと言われる。そして、それがいかに幸せなことかを大人は語ります。それは確かにその通りですが、だからこそ昔とは比べようもないほどに、君たちは自分が何のために勉強を続けるのかを問い続け、大学へ進学する意味を見つけないといけないかと思っています。時間がかかってもいいから、問い続けてほしいと思います。

2年生

夏季合宿 in 信州

7月26日～28日の2泊3日、生徒の健康と安全を最優先事項として万全の対策のもとに、中2は信州方面で夏季合宿を実施しました。

今年の中2は「歴史あるものから学ぶ」を学年テーマの一つに据えており、初日には「立岩和紙の里」で「紙漉き体験」をしました。2日目、3日目は雨に降られ行程の変更が続きましたが、急変する山の天候の厳しさや、日常では訪れる機会の少ない諏訪市博物館の見学などから、生徒たちは前向きにいろいろなことを吸収していました。

楽しかった合宿

2A 金谷 侑奏

私が夏季合宿で特に印象に残ったのは、諏訪市博物館に行ったことです。諏訪市博物館では、考古学者の藤森栄一氏のことを教えていただいたり、展示室で「諏訪の七不思議」について説明されているものがあった、「神野の耳さけ鹿」や「宝殿の天滴」など読んでいて面白いものばかりでした。普段は知る機会のない諏訪のことを知ることができて良かったです。3日目の坪庭トレッキングでは、ハイマツやオトギリソウ、キンロバイなどの植物をたくさん観察したり、縞枯れ現象を見ることができました。山は涼しくロープウェイからの景色はとてもきれいで快適だなと思いました。



夏の最高の思い出

2C 森井 ここあ

私にとってこの学年で過ごした2泊3日は初めての体験がたくさんあり、とても心に残る思い出になりました。まずは、1日目の紙漉き体験です。うちわ作りにはたくさんのコツがあって、きれいに仕上がるか心配でしたが思っていた以上に良い仕上がりになりました。

天日で乾いた完成を見るのが楽しみです。二つ目は、2日目に乗ったリフトです。4人で並んで座りとても長い距離を登りましたが、私はジェットコースターも得意な方なのでとても楽しかったです。でも、その日は台風の影響で気温がとても低く、雨も強く降り始め、そんな状況の中で乗ったリフトは、一生の思い出です。

コロナ禍のなか、たくさんの方のご協力での合宿が実行でき、本当に感謝しています。最大の目的だった北横岳の登山は出来なかったけれど、一味違う体験がたくさんできてとても良かったです。



楽しい思い出

2B 松島 寧音

紙漉き体験も山歩きも初めてでとても楽しかったです。紙漉きは、漉いた紙に筆で絵を描くと思イメージ画を描いていたのですが、実際は色のついた繊維を針でのせるように描く方法だったので、最初はとまどい、かなり時間がかかりました。大きくてヒレの長い金魚を二匹描こうとイメージしていたのですが、大きな金魚が一匹とシルエットだけの金魚や水草を少ししか描けなかったのもう少し時間があれば良いと思いました。完成品が届くのが楽しみです。坪庭はとてもきれいでジブリやRPGゲームに出てきそうな雰囲気でした。「この岩の穴に動物が住んでいそう」とか「オオカミが走っていたらカッコいいだろうな」などと考えながら歩きました。雨上がりなのか草花に付いた水滴が太陽の光に反射してキラキラ光っていました。写真を撮ったとしても画像では表現できないくらいきれいでした。

びっくりの連続

2D 岩尾 柚果

私が今回の夏季合宿の中で一番印象に残っているのは、北横岳のロープウェイです。今まで乗ったこともなかったし、何より霧の中を進んで行くのがとてもワクワクしました。その日は霧がとても深く、三大アルプスの姿も見ることができませんでした。でも、ロープウェイのすぐ下にたくさん茂っている木々や、針葉樹が縞状に集団で立ち枯れになって見える、縞枯山しまがれやまを見ることができて良かったです。夏季合宿のしおりで説明を読んだときから「どんなふうに木が枯れるのだろう」と気になっていたのですが、想像していた以上にはっきりとその様子が分かってびっくりしました。さらに、先生が持ってきて下さったポテトチップの袋がパンパンに膨らんでいたり、からっぽのペットボトルの蓋を開けたらボンッと音が鳴ったりと、高い山でなければ味わうことのできない楽しみ方ができて嬉しかったです。また行く機会があれば、高山植物もしっかり見たいと思います。

オープンスクール ようこそ三重中へ Open School

夏休みに入っすぐのスポーツの日、7月23日(金・祝)に小学校5、6年生を対象にした三重中学校人気企画のオープンスクールが華々しく開催されました。このオープンスクールは教育活動を本校の生徒に限定せず、新しい時代を担う小学生の児童の皆さんに楽しく学ぶ機会を設け、本校がより開かれて地域に貢献できることを目指し、平成12年から開催されている企画です。参加者は年々増えてきていて、今年は定員を超える申し込みがありました。

今年も社会情勢を考慮し、次のような開催となりました。



- ① 午前・午後に分散して講座を開催。
- ② 各講座最大20名以下で構成。
- ③ 講座での協働作業はせず、個々に取り組む。
- ④ 会場は換気を徹底し、密を避ける配慮をし、消毒を徹底。
- ⑤ 講座運営の教員・生徒、参加児童はマスク着用。



これらを徹底した上で、安心して受講していただきました。松阪市内から多くの参加者があるのはもちろんのこと、津市、名張市からの参加もあり、会場は活気にあふれていました。

オープンスクールは三重中学校の先生が自ら企画して様々な教科ごとの講座が開催されますが、注目すべきはその講座全てに本校三重中学校の生徒が講座運営の補助にあたり、先生と一緒に訪れた小学生と講座を運営していくことです。小学生の児童の皆さんにとっては、中学校の学習に触れる初めての機会となったようです。どの講座も活気にあふれ、講座で提示される課題に汗をかきながら一生懸命に取り組んでいる様子は、学ぶ喜びにあふれていました。講座ごとに工夫を凝らしたお土産は良い思い出となったことでしょう。

また来年も、よりパワーアップして開催されます。ご期待ください。



2021 オープンスクール開講講座紹介

講座1 理科科企画

「三重中ラボラトリー 1 ～化学編・ロウソクの科学／不思議フシギな炎の世界～」

講座2 理科科企画

「三重中ラボラトリー 2 ～物理編・光線の科学／周りにある見えない光線をみる～」

講座3 技術・情報科企画

「トレジャーハンター！ミエチュウを捜せ！ ～ロボットプログラミング講座～」

講座4 数学科企画

「キラキラクルクル数学世界 ～平面充填する万華鏡づくり～」

講座5 国語科企画

「折ってたんで物語は踊る ～作家体験：パタパタ絵本の制作～」

講座6 社会科企画

「いにしえ古の呼吸 はじまりの型 ～粘土板に楔形文字を書いてみよう～」



【六年制】学校評価アンケート集計結果

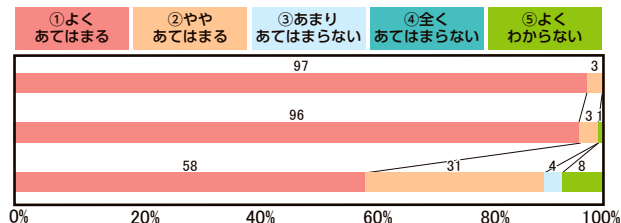
	保護者	生徒	教職員
全体数	328	328	26
回答数	320	325	26
回収率	98%	99%	100%

- ①よくあてはまる ②ややあてはまる
③あまりあてはまらない ④全くあてはまらない
⑤よくわからない

教育方針等について

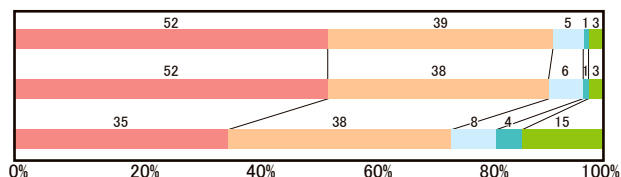
保護者	本校の校訓が「真剣味」であることを知っている。
生徒	本校の校訓が「真剣味」であることを知っている。
教職員	生徒は、本校の校訓が「真剣味」であることを知っていると思う。

	①	②	③	④	⑤
保護者	97	3	0	0	0
生徒	96	3	0	0	1
教職員	58	31	4	0	8



保護者	本校の教育目標や教育方針を生徒・保護者に分かりやすく説明している。
生徒	本校の教育目標や教育方針についての学校の説明は分かりやすい。
教職員	本校の教育目標や教育方針を生徒・保護者に分かりやすく説明している。

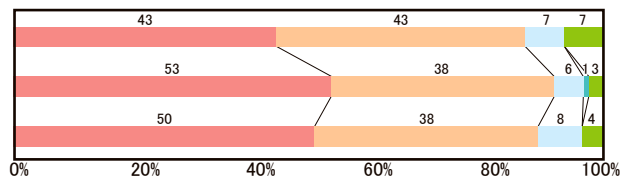
	①	②	③	④	⑤
保護者	52	39	5	1	3
生徒	52	38	6	1	3
教職員	35	38	8	4	15



学校全般について

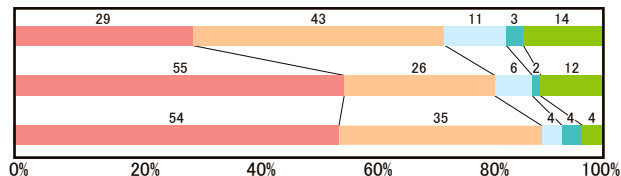
保護者	子どもにとって学校の雰囲気が良く、生き生きしている教育環境を作ろうと学校は努力している。
生徒	学校の雰囲気がよく生徒が生き生きしている。
教職員	あなたは、生徒が生き生きするような教育環境作りと学校の雰囲気作りに努力している。

	①	②	③	④	⑤
保護者	43	43	7	0	7
生徒	53	38	6	1	3
教職員	50	38	8	0	4



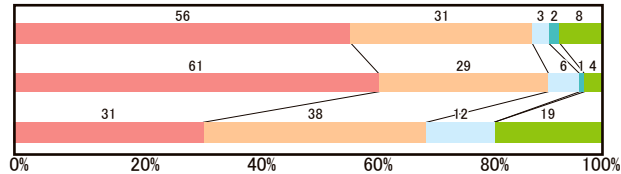
保護者	学校は、生徒の悩みや相談に親切に対応している。
生徒	先生は悩みや相談に親切に対応してくれる。
教職員	あなたは、生徒の悩みや相談に親切に対応している。

	①	②	③	④	⑤
保護者	29	43	11	3	14
生徒	55	26	6	2	12
教職員	54	35	4	4	4



保護者	本校に入学させてよかったと思っている。
生徒	自分は本校に入学してよかったと思っている。
教職員	本校に入学してよかったと思っている生徒が多い。

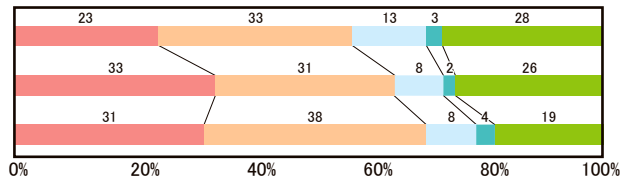
	①	②	③	④	⑤
保護者	56	31	3	2	8
生徒	61	29	6	1	4
教職員	31	38	12	0	19



進路指導について

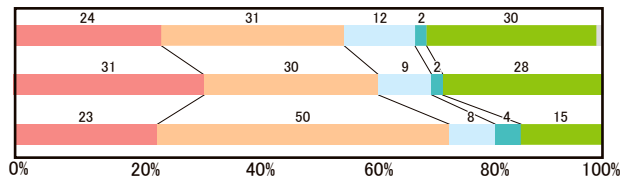
保護者	六年制中学部として進路に関する情報は、必要な時期を考慮し生徒・保護者に適宜提供している。
生徒	六年制中学部として将来の職業や大学についての情報は、分かりやすく提供されている。
教職員	六年制中学部として進路に関する情報は、必要な時期を考慮し生徒・保護者に適切に提供している。

	①	②	③	④	⑤
保護者	23	33	13	3	28
生徒	33	31	8	2	26
教職員	31	38	8	4	19



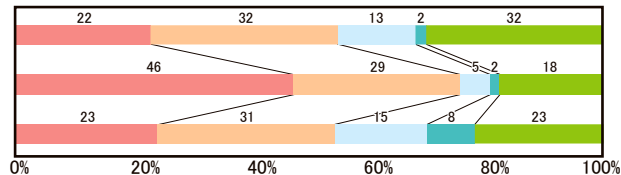
保護者	学年計画に応じて適切な進路指導を行っている。
生徒	学年ごとに行われる職業や大学についての話は、十分役に立っている。
教職員	学年に応じて適切な進路指導を行っている。

	①	②	③	④	⑤
保護者	24	31	12	2	30
生徒	31	30	9	2	28
教職員	23	50	8	4	15



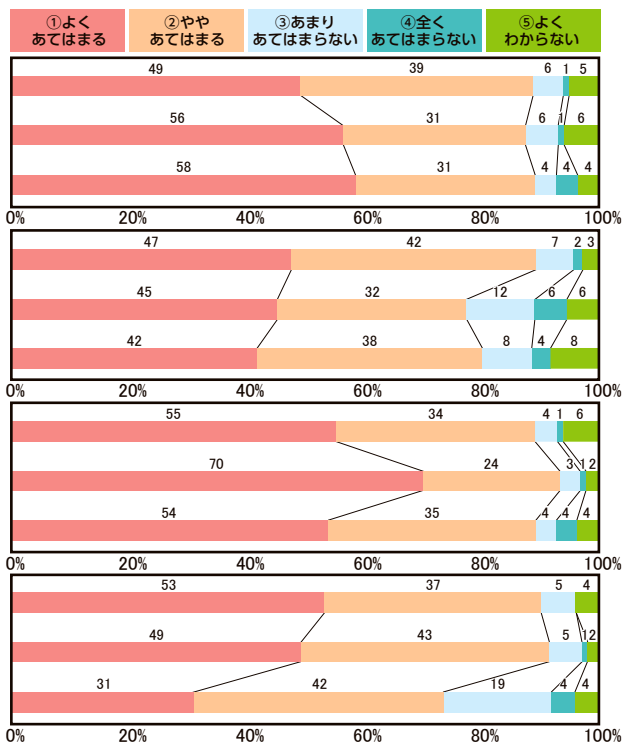
保護者	学校は特色ある進路行事を企画している。
生徒	進路行事(講演や特別授業)は、楽しく将来のためになると思う。
教職員	特色ある進路行事を企画している。

	①	②	③	④	⑤
保護者	22	32	13	2	32
生徒	46	29	5	2	18
教職員	23	31	15	8	23



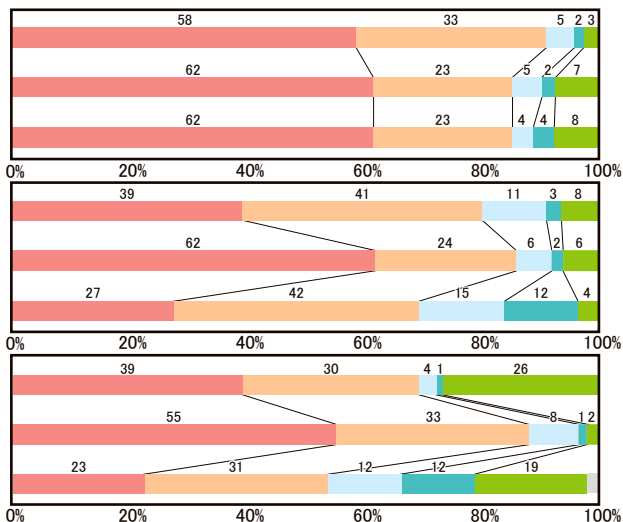
生活指導について

	①	②	③	④	⑤
保護者 学校は、基本的な生活習慣を身につけさせようと適切な指導をしている。	49	39	6	1	5
生徒 基本的な生活習慣を身につけさせようと努力している先生が多い。	56	31	6	1	6
教職員 あなたは、基本的な生活習慣を身につけさせるために適切な指導をしている。	58	31	4	4	4
保護者 服装・頭髪などに関する本校の指導は適切であると考えている。	47	42	7	2	3
生徒 服装・頭髪などに関する本校の指導は適切である。	45	32	12	6	6
教職員 服装・頭髪などに関する本校の指導は適切である。	42	38	8	4	8
保護者 学校は、挨拶や時間を守らせる指導に力を入れている。	55	34	4	1	6
生徒 学校は挨拶や時間を守らせる指導を熱心に行っている。	70	24	3	1	2
教職員 あなたは、挨拶や時間を守らせる指導に力を入れている。	54	35	4	4	4
保護者 子どもは、校則やきまりをよく守っている。	53	37	5	0	4
生徒 私は校則やきまりをよく守っている。	49	43	5	1	2
教職員 校則やきまりをよく守っている生徒が多い。	31	42	19	4	4



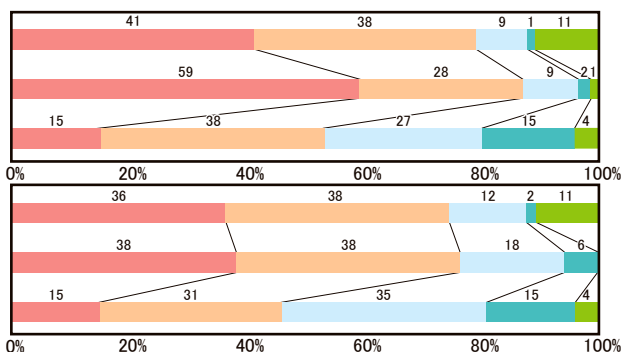
クラブ・クラス・行事などの活動について

保護者 今年度の学校行事(学園祭、夏季合宿、研修旅行、スキー練習会等)が国や自治体の指針により中止や延期されていることについて、適切である。	58	33	5	2	3
生徒 今年度の学校行事(学園祭、夏季合宿、研修旅行、スキー練習会等)が国や自治体の指針により中止や延期されていることについて、適切である。	62	23	5	2	7
教職員 今年度の学校行事(学園祭、夏季合宿、研修旅行、スキー練習会等)が国や自治体の指針により中止や延期されていることについて、適切である。	62	23	4	4	8
保護者 クラブ活動は活発で充実している。	39	41	11	3	8
生徒 クラブ活動は活発で充実している。	62	24	6	2	6
教職員 クラブ活動は活発で充実している。	27	42	15	12	4
保護者 子どものクラスは、ホームルーム活動が活発で楽しいクラスと思う。	39	30	4	1	26
生徒 ホームルーム活動が活発で自分のクラスは楽しい。	55	33	8	1	2
教職員 あなたは、ホームルーム活動を工夫し、活発で楽しいクラス作りをしている。	23	31	12	12	19



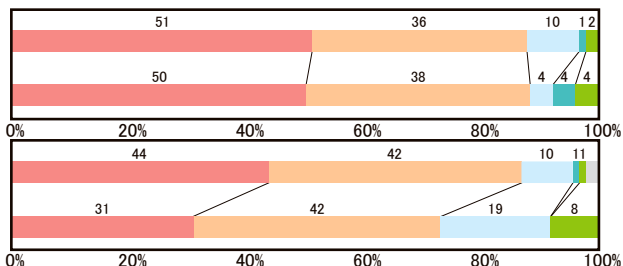
施設設備・美化について

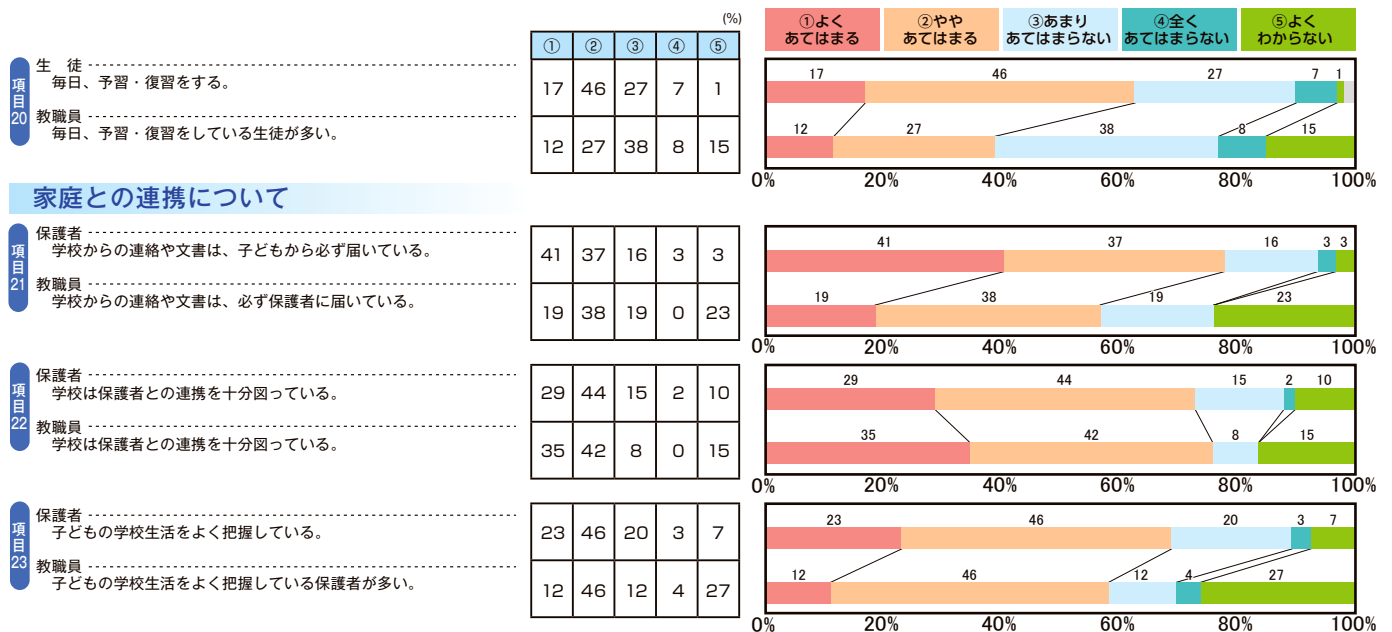
保護者 施設設備はよく整備されている。	41	38	9	1	11
生徒 施設設備はよく整備されている。	59	28	9	2	1
教職員 施設設備はよく整備されている。	15	38	27	15	4
保護者 清掃状況がよく、校内がきれいである。	36	38	12	2	11
生徒 清掃状況がよく、校内がきれいである。	38	38	18	6	0
教職員 清掃状況がよく、校内がきれいである。	15	31	35	15	4



学習について

生徒 教え方や説明が分かりやすい先生が多い。	51	36	10	1	2
教職員 あなたは、教え方や説明を生徒に分かりやすいように工夫している。	50	38	4	4	4
生徒 授業に意欲的に参加している。	44	42	10	1	1
教職員 授業に意欲的に参加している生徒が多い。	31	42	19	0	8



表彰
報告

松阪地区中学校総合体育大会(剣道の部) ※三重県中学校総合体育大会出場

剣道部女子団体 3位 西村 仁那(1B)・青山 桜(2C)・東浦 有亜(1C)
喜岡 歩(1A)・余谷 愛美(3A)

第67回全日本中学校通信陸上競技大会 ※第43回東海中学校総合体育大会出場

陸上部男子3000M 9分20秒38 第3位 岡村 将英(3B)

第37回三重県中学校選抜陸上競技大会

陸上部男子3000M 9分23秒60 第3位 岡村 将英(3B)

第16回松阪陸上競技選手権大会

陸上部女子砲丸投げ 9m50 第6位 小濱 亜依(3C)
男子800m 2分06秒79 第6位 岡村 将英(3B)



第72回三重県中学校学年別水泳大会

女子2年生100M平泳ぎ 1分27秒07 第6位 井上 遥(2D)
女子2年生200M個人メドレー 2分46秒21 第7位
女子2年生100M自由形 1分08秒92 第8位 徳倉 玖美(2C)
女子2年生200M自由形 2分27秒46 第7位
男子3年生100Mバタフライ 1分01秒60 第2位 遠藤 隆一郎(3A)
男子3年生100M自由形 58秒00 第2位

第74回三重県中学校水泳競技大会 ※第43回東海中学校総合体育大会出場

男子100Mバタフライ 1分01秒05 第2位 遠藤 隆一郎(3A)



全国珠算学校連盟暗算段位認定 十段(最高段位) 前原 優月(3A)

実用英語技能検定 三重中学校 奨励賞

俳人協会第60回全国俳句大会

「ジュニアの部」佳作 秋山 朋輝(1C) 田を植えてついたる泥の重たさよ



三重中学校・高等学校六年制 令和4年度 生徒募集要項

制 度 中高6年一貫教育 男女共学

募集人数 第1学年 約105名

一般選考試験 [TOP35 (特別選抜)] 約30名
および[STANDARD (選抜)] 約65名

思考型特別選考試験

[TOP35 (特別選抜)] [STANDARD (選抜)] いずれも若干名



一般選考試験

出願期間 令和3年12月13日(月)～令和4年1月6日(木)

試験日時 令和4年1月10日(月・祝) 受付は午前8時20分までに済ませてください。

試験科目 国語・算数

試験科目など	(予 鈴)	試験時間	配当時間	配 点
試験説明・注意	(8:30)	8:35～8:45	10分	
国 語	(8:55)	9:00～10:00	60分	150点
算 数	(10:15)	10:20～11:20	60分	150点

合格発表 令和4年1月12日(水)

備 考 実用英語技能検定(英検)資格取得者には合格証のコピーの提出で、合格級に応じて加点を行います。[対象：3級以上]

思考型特別選考試験

出願期間 第1期 令和3年12月13日(月)～令和4年1月 6日(木)
第2期 令和4年 1月12日(水)～令和4年1月15日(土)

試験日時 令和4年1月16日(日) 受付は午前8時20分までに済ませてください。

試験科目 試験Ⅰ…「算数・理科に関する考察問題」を出題します。
試験Ⅱ…「国語(要約・描写など)」を出題します。

試験科目など	(予 鈴)	試験時間	配当時間	配 点
試験説明・注意	(8:30)	8:35～8:45	10分	
試験Ⅰ	(8:55)	9:00～10:00	60分	
試験Ⅱ	(10:15)	10:20～11:20	60分	

合格発表 令和4年1月18日(火)

帰国子女入試について

帰国後1年未満の帰国子女を対象とした入試で、入学試験を受験の上、面接を実施します。詳しくはホームページ又は、学校まで問い合わせてください。

編入について

帰国子女及び転勤等による県外からの一家転住の場合に適用し、新2年生への編入を行います。国語・数学・英語の試験と面接を実施します。詳しくはホームページ又は、学校まで問い合わせてください。

学術とスポーツの
真剣味の殿堂たれ



発行 三重高等学校
〒515-8533
三重県松阪市久保町1232
電話 0598 (29) 2959
FAX 0598 (29) 6944
Eメール infomieh@mie-mie-h.ed.jp
印刷 (株)アイブレン
題字 佐久美 泉涯



甲子園に想いを寄せて

校長 中谷 文弘

「カーン、と高い音とともに白球がレフト側に、鋭く舞い上がる。左翼手は途中、追うのをあきらめ、スタンドに吸い込まれていく打球の行方を見上げている。一瞬の間を置き、スタンドから、メガホンと拍手が一段と高く沸き上がり、応援席が一段と活気づく。」今夏の甲子園で特に印象に残っている場面です。スタンドからは球場全体が一望できるので、一つひとつのプレーを俯瞰して見られるのが利点です。とはいえ、焦点を当てた部分はわかりませんが、同時に他の部分は漠然としか見られないのが難点でもあります。冒頭のプレーも、ホームランを打った池田主将がどのように塁上を駆け抜けたのか、全く覚えていません。また、テレビと違って球場ではリプレーが見られませんが、まさに一瞬一瞬、捕手がミットを構え、

投手が打球動作に入り、ボールが投げられ、打者が打ち、飛んだ打球を守備陣が追う、といったボールの動きを中心に、一つのプレーを見て追うこととなります。冒頭のプレーは、先行され、7回に1点を返したものの、何とか反撃を、と祈っていたところで、8回に出たものです。打った瞬間に「入った」と思い、白球の行方を集中して見ていたので、今でも鮮明に覚えていますし、いつまでも私の記憶に残ることだと思います。

私と甲子園との縁は、昭和44年春に始まります。中学校を卒業し高校入学を控えた春休み、選抜大会に出場した三重高校が、一戦ごとに力をつけ勝ち進んでいきました。郷里の先輩が出場しており、「村全体が、大漁旗を持って応援する」といった雰囲気であり、勝つたびに流れる校歌を知らず知らずのうちに覚えていました。

2度目は、大学生の頃、作新学院の江川卓投手の試合を見るため、甲子園に観戦に

行きました。どうやって、誰と行ったか、対戦相手の高校はどこだったか、どちらが勝ったか、等々全く覚えていません。ただし、ある場面だけは今でも鮮明に覚えています。「江川さんが打席に立ち、ぼてぼてのサードゴロ、楽々アウトの状況で、途中走るのをあきらめ、ダッグアウトに向かうとする。その途中、主審が呼び止め、なにやら注意している模様……」高校野球の神髄は、全力プレーであり、怠慢ととらえた主審の行動ではなかったのか、と当時は感じ入ったものでした。

4度目は、平成26年、私が本校に赴任した年であり、初戦から決勝戦まで熱戦を繰り広げ、最後は惜しくも大阪桐蔭に敗れはしたものの、見事準優勝に輝きました。決勝戦を含め3回甲子園で応援し、あとはテレビ応援でした。決勝戦は全員野球で緊張感を持つての応援であったと思いますが、具体的なプレーはほとんど覚えていません。「三重高校勝つてほしい」との気持ちで漠然と応援してい

たからかもしれません。

今夏の甲子園、もう一つ鮮明に覚えている場面があります。2回戦の樟南高校との試合終盤、代走で1塁に出た樟南の選手のスパイクが、2盗で滑り込んだ際、ベースカバーに入った品川選手の左手を直撃し、品川選手がしばらく動けなかった場面です。手当たのため中断している間、大丈夫だろうか、と固唾を飲んでグラウンドを見つめている中、一礼して戻ってきた品川選手に双方の応援席から大きな拍手が送られました。また、2塁上で、塁審が相手選手に何やら声をかけ、謝りを促しているように見えました。その後、上山投手が後続を断ち切り、次回、打席に立った品川選手がヒットで出塁したので、ほっと安心したものでした。

県大会の準決勝では、ノーアウト1塁、送りバントが上手く2塁手の前に転がり、スタートが良かった1塁ランナーが一気に3塁を狙うもフォースアウト、2塁を狙った打者もアウトとなる場面がありました。ノーアウト2・3塁になろうとする危機を、内

野陣の見事な連携プレーで一気にツーアウトランナー無しとし、一気に勝利を手繰り寄せたのには、テレビの前で拍手喝采しました。一歩も二歩も先を読んだ動き、とっさの判断が適切にできるのも、徹底した基本練習の上に、もう一つ質の高い練習の積み重ねがあればこそと、感心したものです。数学でもそうですが、基本問題や標準問題を繰り返し演習することで、応用問題や初見の問題に出会ったとき、定式化の糸口が見えてくるのではないかと考えます。何事にも「真剣味」の精神で取り組むことが大切です。

甲子園の大会後、「三重高校の統率された応援が素晴らしい」「1年生女子を中心とした応援部員が、初めての甲子園で、見事に規律の取れた応援活動が出来たことも、今夏の甲子園の大きな成果でした。また、「甲子園に来た」「今度こそ、吹奏楽部バトン部、応援部の三者が一体となつて応援団を編成し、盛り上げていきたい」との思いを強くしたこの夏でした。

2021 全国総体

「輝け君の汗と涙 北信越総体」が7月24日（土）から8月24日（火）の期間で開催されました。福井県、新潟県、富山県、石川県、長野県の会場に分かれ、それぞれが日頃の練習の成果を発揮しました。

ソフトテニス部男子は個人で優勝、ソフトテニス部女子は団体で準優勝という輝かしい成績を残しました。



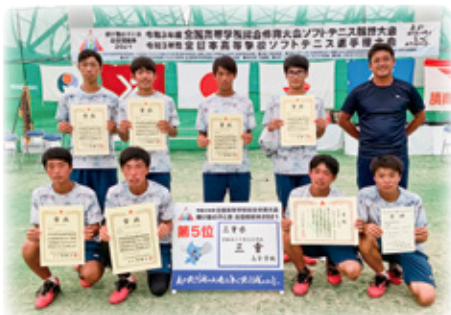
男子ソフトテニス部

思いの力

3S5 仲川 晴智

私たちソフトテニス部は7月29日から31日に石川県で行われたインターハイで団体5位、個人戦では私と近藤のペアが優勝しました。このような結果が出せて良かったです。また、これまで支えてくださった方々へ最高の結果で恩返しをすることができ、大変嬉しく思います。

私たちが優勝できたのは、感謝の気持ちがあったからです。今大会では、マッチポイントを合計6回



（準々決勝4回、決勝2回）も握られていました。

そんな苦しい状況の中でも挽回できた要因は、感謝の思いです。両親や応援してくださるOBの方々、私たちが指導してくださる監督、トレーナー、寮監や私のペア、そして今まで頑張ってきた私自身にも感謝しプレーすることが、苦しい中でも勇気を出して頑張ることができた原動力でした。2人ではなく、チーム三重高で獲った優勝です。この経験を糧にこれからも頑張りたいと思います。

三重国体が中止になり、高校の部活動は引退となつてしまいましたが、これからは後輩達に何か残せるように頑張りたいです。

女子ソフトテニス部

成長

3K2 川上 日菜

8月1日から4日まで石川県七尾市でインターハイが開催されました。コロナ禍にもかかわらず、インターハイに参加できたことに感謝しています。

私たちは「日本一」を目指し、日々練習をしてきましたが、一步届かず準優勝でした。3月の全国選抜大会での悔しい気持ちを忘れず練習に取り組んできました。チームの状況を見て「これで日本一になれるのか」と不安になる日もありましたが、その度にミーティングをして声を掛け合い、37人全員で日本一を目指して活動してきました。

決して満足のいく結果ではありませんが、高校生活で最高の思い出となりました。いつも指導してくださった先生方、支えてくださった寮母さんや

保護者の方々、応援してくださった方々のおかげでここまで成長することができました。本当にありがとうございました。

新型コロナウイルスの感染拡大の為、私たちの最終目標であった、三重とこわか国体は中止となり、言葉では表せない感情でいっぱいです。それでも私たちがこの三重高校でやってきたことを信じて、それぞれの目標に向かってまた進んでいきます。今後とも応援の程、宜しくお願い致します。



女子バレー
ボール部

感謝の気持ちを持つて

3S5 上井穂乃果

私たち女子バレー部は、7月28日から石川県で行われたインターハイに出場しました。

今年は新型コロナウイルスの影響もあり、無観客試合となり、会場での応援がない中、沢山の方々の気持ちを背負い挑んだ全国の舞台でした。

1試合目は山梨県の帝京第三高校と対戦し、ストレートで勝利しました。対戦高校とは、何度も練習試合をしたことがあったため、対策を入念に練り、練習を重ねたこともあって、自分達の



ペースでプレーすることができました。予選ブロックを通過し、決勝トーナメントでは、愛知県の岡崎学園高校と対戦しました。相手の勢いにのまれ、自分達の強みである攻めた強気のプレーをすることができずに敗北し、悔しさが残る結果となりました。今回の試合から一人一人の課題、チームの課題が見つかりました。「悔しかった」だけで終わらせないように次に向けて頑張りたいと思います。

そして、コロナ禍でも私たちがバレーボールを全力で取り組んでいるのは、周りの方々の支えがあるからこそです。感謝の気持ちを忘れず、次の大会の春高予選に挑みたいと思います。そこで勝ちきり、春高という夢の舞台でベスト4を目指し、目標を達成できるように頑張ります。応援よろしくをお願いします。

男子
サッカー部

感謝

3S5 吉良元希



私たちサッカー部男子は、北信越総体の3回戦に進出し、京都府代表の東山高校に敗れたものの、サッカー部創立以来初の全国大会ベスト16で大会を終えました。今年のチームの強みである「一体感」を全国大会でも出し切ることができたと思います。

このコロナ禍において、全国の舞台で無事に試合ができたのは、本当に数多くの方々の支えがあったからであり、感謝の気持ちでいっぱいです。さらに、大会前や試合前にはたくさん仲間や先輩方から声援を



なかった悔しさでいっぱいです。しかし、この大会を通して全国との差を実感し、自分たちの日常生活や練習に、まだ「隙」があることを突きつけられたことは、今後のチームにとっていい経験になったと思います。

私たちにメインディッシュ（高校サッカーの集大成）である選手権大会があります。全国での経験を活かし、一体感を強め、感謝の気持ちを忘れず、全国ベスト4という目標を達成するために、日々精進します。ご声援ありがとうございます。

男子
剣道部

感謝の気持ち

3K4 向井崇真

8月9日から12日に石川県で開催されたインターハイに出場させていただきました。

が、「もつと何かできることがあったのではないか」と今も反省をしている。

私達、剣道部はこの大会で優勝するために、毎日稽古に取り組んできた。しかし結果はベスト16。優勝校に負け、とても悔しい結果に終わってしまった。全力を出し切ったつもりだ

私が大会を通じて感じたことは、感謝すべき人がたくさんいるということだ。コロナ禍の状況だが、最後の夏の大会、3年生全員（10名）で挑んだ。選手が試合に集中できるよう、

チームメイトは常に何かできることを探し、全力でサポートしてくれた。私はこれ程気配りのできる同級生を見たことが無い。私も、人のために何かを頑張れる人間になりたいと思う。同級生だけでなく、両親、先生、大変な状況で大会を運営してくださった方々、私は周囲の人々への感謝の気持ちを忘れず、自己研鑽に努めていきたい。



女子弓道部

心が繋がったインターハイ

3K1 中西 美優

弓道部女子は、新潟県上越市で行われたインターハイに出場しました。

団体戦では14中という成績で予選を通過しました。

1つ目の目標が、冬の選抜で突破できなかった予選通過をすることだったので、

この予選は全員の心が繋がった瞬間だったと思います。

決勝トーナメントでは秋田県の新屋高校と対戦し、11-13の2中差で初

戦敗退でした。終わった後、悔しさはもちろんあり

ましたが、全国の舞台で弓道ができて楽しかったとい

う気持ちの方が大きかったです。

高校弓道の集大成となるインターハイで、私たちの

実力を十分に発揮することができ、とても思い出に残る大会になりました。最後

に全員が楽しかったと笑って終わることができたのは、今まで支えてくださった先生方・部員・家族のおかげです。ありがとうございました。

インターハイで学んだことを、将来の様々な場面に活かしていきたい

と思います。最後まで応援ありがとうございました。

ありがとうございました。



硬式野球部

高校野球生活

3S2 池田 彪我

私は、中学生の時に、三重高校は甲子園に一番近い

学校だと思い受験しました。そしていざ入学してみ

ると、同学年が56人もいて、その中でレギュラー争いが

始まりました。

毎日の練習や走り込みで、今までは違う運動量

に最初はついていけず、初めて親元を離れての寮生活

ということもあり、6月までの3ヶ月で入学時の体重

から5キロも減ってしまいました。同じ環境の中でも

Aチームに入っている同級生や、先輩達が中心のチ

ームの中で試合に出ている同級生もいて、今の自分の取

り組みのままではいけない

と思い、コロナの自粛期間に思い切つて身体と基本動

作を見直し、自主練習に取り組みました。その結果、

自粛明けの練習で今までは違う打球が打てるようになり

自粛が明けて自分たちの最後の高校野球の年になり

ました。「自分がこの新チームのキャプテンになっ

て、チームを引っ張り甲子園に連れていく」という気

持ちを持っていたので、最初のミーティングでキャプ

テンに立候補し、キャプテンになりました。春の甲子

園がかかった秋の大会で県大会は優勝しましたが、東

海大会ではあと一歩というところで負けてしまいました。

チームはどんどん勝つて、いい雰囲気だと思っ

たのに、自分が気づか

ないところでAチームとBチームの間に亀裂が入っ

ていました。そしてその亀裂に気づかないまま春の県

大会に挑みましたが、結果は1回戦コールド負けと

なりました。このままではいけないと思い、その後に

3年生全員でミーティングをし、一人一人が思っ

ていこうと話し合いました。その次の日から全員の練習への取り組みや練習の雰囲気は良くなり、思っ

たことや気づいたことがあつたら言い合えるようになり

ました。また、練習試合でも「勝てるチーム」

をテーマに試合をし、試合をするごとに自分達が力

をつけていることがわかってきて、夏の大会が始まる

前はとていい雰囲気でした。1回戦から5回戦まで自分たちの野球が

でき、誰かの調子が悪くても助け合うというチームプレ

イを重ねた結果、優勝して甲子園出場を決めることが

できました。

いろいろな事があつた高校野球生活でしたが、最高の仲間と最高の結果を出せたこと、三重高校のクラスの仲間や沢山の方々に応援

していただいたことへの感謝の気持ちを、残りの高校

生活の中で伝えていきます。



令和3年度 クラブ活動結果報告 (7月～8月)

令和3年度全国高等学校総合体育大会 北信越総体2021

ソフトテニス部

男子団体 5位
男子個人 優勝 仲川晴智(3S5)・近藤拓空(3K3)
女子団体 準優勝
女子個人 ベスト16 大友紅実(3S5)・原田美結(3S5)

剣道部

男子団体 ベスト16
男子個人 出場 藤堂文太(3K4)・中西健吾(3S5)

サッカー部 男子 ベスト16

バレーボール部 女子 ベスト32

陸上競技部

400メートル 出場 瀬古陸斗(3S5)
4×400メートルリレー 出場
中野秀太(3K3)・松前楽(3S1)・
藤原光汰(1K2)・瀬古陸斗(3S5)
円盤投・ハンマー投 出場 西井琳音(3T2)

弓道部 女子 団体決勝トーナメント 出場

アーチェリー部 出場 本田郁光(2K5)

自転車競技部

男子個人ロードレース 35位 浅野壱輝(2K5)

相撲部 出場 稲垣明良(5A)

硬式野球部

第103回全国高等学校野球選手権大会 ベスト16



第45回全国高等学校総合文化祭 紀の国わかやま総文2021

将棋部 将棋部門 ベスト16 大村一華(2K4)
出場 北橋きらり(3T1)

演劇部 演劇部門 優良賞

放送部 放送部門(朗読部門) 出場 内藤楽葵(6C)

放送部

第68回NHK杯全国高校放送コンテスト
創作ラジオドラマ部門 出場

ダンス部

第9回全国高等学校ダンス部選手権 決勝大会 7位

三重高等学校 オープンスクール

開催日時 2021年11月3日(水・祝) 午前9時30分～11時30分(受付時間 午前9時～)

対象 中学3年生とその保護者

内容 ①令和4年度入試の募集要項の説明
②令和3年度入試問題分析と
令和4年度入試の傾向説明
など、入試に関する情報がたくさん
あります。ぜひ参加してください。

場所

三重高等学校
〒515-8533 三重県松阪市久保町1232
TEL 0598-29-2959 FAX 0598-29-6944
E-mail infomieh@mie-mie-h.ed.jp
URL <https://www.mie-mie-h.ed.jp>

保護者の方へ

- 駐車場が狭いので、できる限り公共交通機関を利用してください。
- お車で来校、送迎されます場合は、必ず所定の駐車場をご利用ください。(周辺の店舗駐車場・路上への駐車はご遠慮ください。)